

レンジフードファン(給気誘導流形)

形名

V-603SQ(電動スライドフード)

V-603SQ-M(手動スライドフード)

取付工事説明書

販売店・工事店さま用

取付工事を始める前に必ずこの取付工事説明書をお読みにになり、正しく安全に取付けてください。

取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

この製品は28kgの重さがあります。取付工事は二人以上で行ってください。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡してください。

■本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限(内装材の制限、可燃物との距離の制限など)がありますので、詳細は行政官庁または、消防署にお問い合わせください。

■接続ダクトはφ150の鋼板管・スパイラルダクトのいずれかをご用意ください。





安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。



警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

警告

 水ぬれ禁止	●直接水がかかる場所や湿気の多い場所には取付けない。 (感電および故障の原因となります)
 分解禁止	●改造や必要以上の分解はしない。 (火災・感電・けがの原因となります)
 指示に従う	●交流100Vを使用する。 (火災や感電の原因となります)
 プラグを抜く	●ランプを点検する際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る。 (感電することがあります)

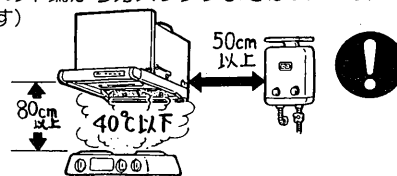
注意

 禁止	●指定以外のランプを使用しない。 (やけどをするおそれがあります)
 指示に従う	●取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う。 (落下によりけがをすることがあります)
	●部品の取付けは確実に行う。 (落下によりけがをすることがあります)
	●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う。 (感電や火災のおそれがあります)
	●取付けの際は必ず手袋を着用する。 (けがをすることがあります)

お願い

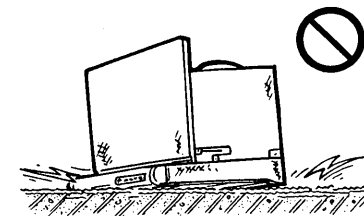
周囲温度が40℃以下になるよう下図の寸法を守る

(本体の下端からガスレンジまでは80cm以上必要です)



(モータ焼損や排気ガスによる塗装面のサビ発生となります)

コンクリートなど、傷のつきやすいものの上には直接置かない

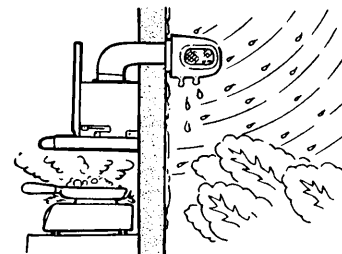
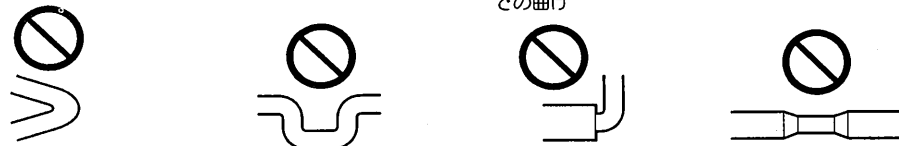


ダクト工事

●排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下りこう配をつけ、先端に屋外フード(システム部材)などを取付けることをおすすめします。

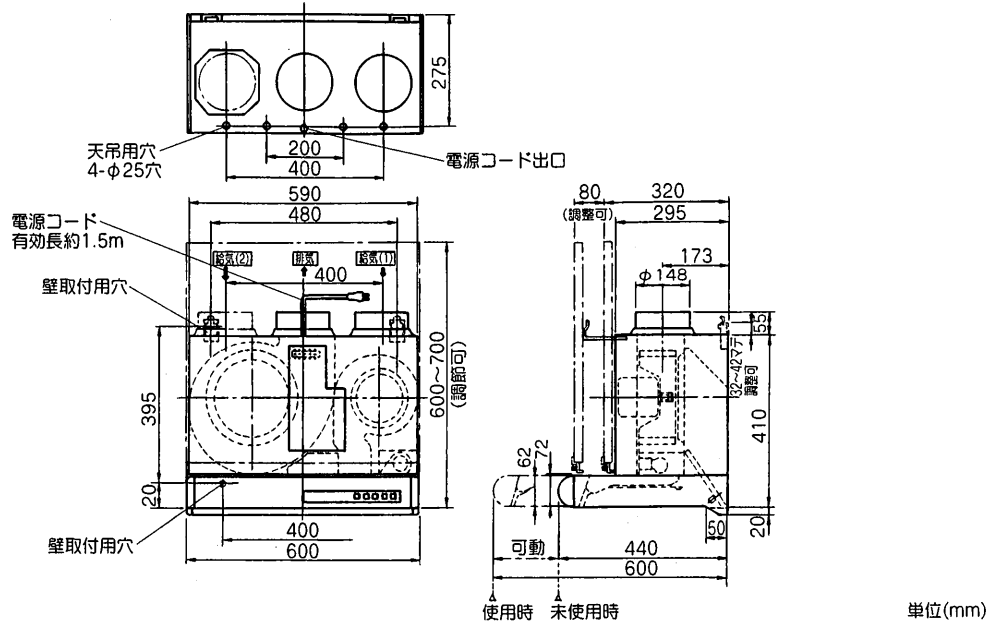
●次のようなダクト工事はしないでください。(風量低下や異常音発生の原因となります)

- 極端な曲げ
- 多数の曲げ
- 吐出口のすぐそばでの曲げ
- しぼり

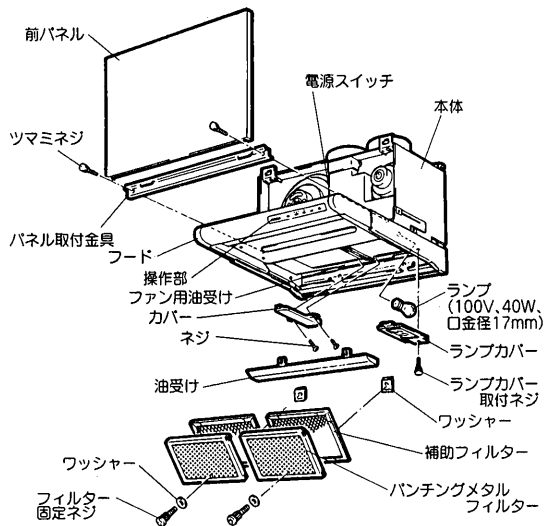


排気ダクトの先端には条件に合ったシステム部材が用意してあります。鳥などの侵入防止にベントキャップ、雨水の浸入防止に深形フードなど、また吹き上げが強いところには耐外風高性能フードをおすすめします。

外形寸法図












各部のなまえ



付属部品

●下記の付属部品があります。

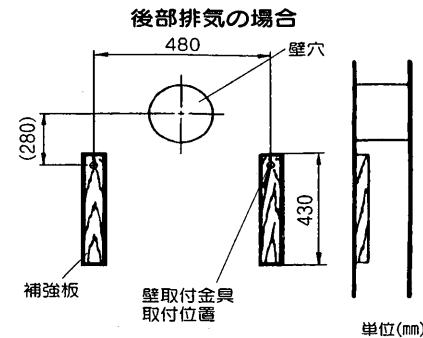
壁取付金具……1個 	特殊ワッシャー……4個 	パッキン……2個 
木ネジ………4本 	木ネジ用ワッシャー……4個 (小2本 大2本) 	ランプ………1個 (40W 口径17mm) 
ゴムワッシャー……4個 	天井用ワッシャー……4個 	ツマミネジ……2本 (ク) 

取付方法

本体の取付には、天井取付けと壁取付けがあります。
排気方向は後・上・左・右自由に選択できます。

取付け前の準備

1



ダクト配管・取付壁による準備をします。

板張りの場合

- 板厚20mm以上の場合には直接壁に取付けてください。20mm以下の場合には20mm以上になるよう補強板を取付けてください。

コンクリート、タイル、土壁の場合

- 新築の場合はあらかじめ補強板を壁に埋め込んでください。
- 既築の場合はコンクリートビスなどを利用するか補強板を固定して取付けてください。

メモ

- 既築の住宅では、補強板が壁面より露出することになりますのでレンジフードファンは壁に密着しません。

お願い

- 新築・既築により準備が異なりますがいずれの場合も十分強度をもたせてください。

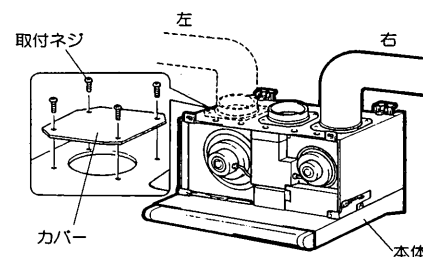
天井ボルト

- 天井取付けの場合は外形寸法図を参照して天井用穴位置にあらかじめ市販の吊りボルト(M8)2本を埋め込んでください。

ダクト配管

- 壁穴をあけてその中にφ150のダクト(鋼板管・スパイラルダクト)を配管し、その周囲の仕上げを行ってください。

2

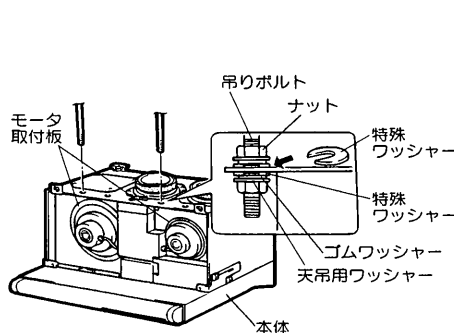


給気方向を選択します。

- 給気口は右側にダクト接続口、左側にカバーが取付けられて工場出荷されます。給気方向により付け換えることができます。
- 必ずカバーを4本のネジで取付けてください。

天井取付けの場合

1



本体を吊りボルトで吊します。

- (1)外形寸法図を参照して、あらかじめ吊りボルトを埋め込み、市販のナットと付属の天井用ワッシャー・ゴムワッシャーを取付けておきます。●給気方向により左右で4個ある天井用穴のうち、左右各1個を選びます。
- (2)本体前面の天井用穴2か所を利用して本体を吊りボルトに吊します。
- (3)左図のように付属の天井用ワッシャー・ゴムワッシャー・特殊ワッシャーを介してナット(市販品)で固定します。

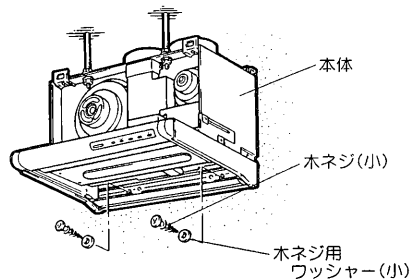
お願い

- 吊りボルトが長すぎると、モータおよび羽根のメンテナンスが出来なくなりますので、モータ取付板にかからないようにしてください。

取付方法 つづき

— 天井取付けの場合 つづき —

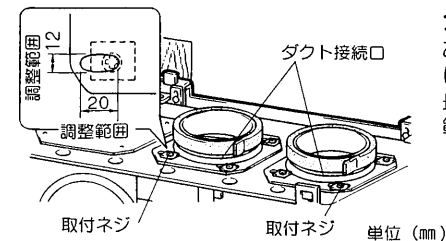
2



本体を固定します。
本体内部より壁面に向けて付属の木ネジ(小)・木ネジ用ワッシャー(小)(各2個)で本体を固定します。

— ダクト工事 —

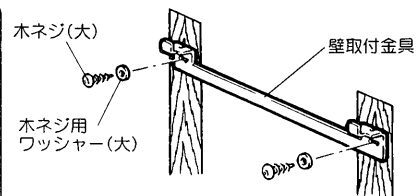
1



ダクト接続口取付位置の調整
あらかじめ配管してあるダクトとダクト接続口とにずれが出た場合は左図の範囲で調整できます。長穴調整になっていますのでネジをゆるめて調整範囲ですらしダクトと合わせて再度固定します。

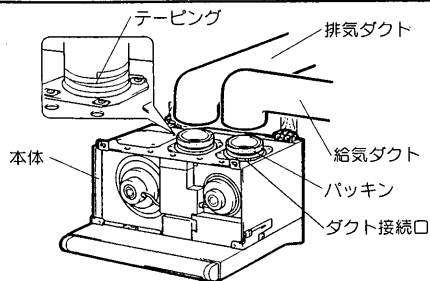
— 壁取付けの場合 —

1



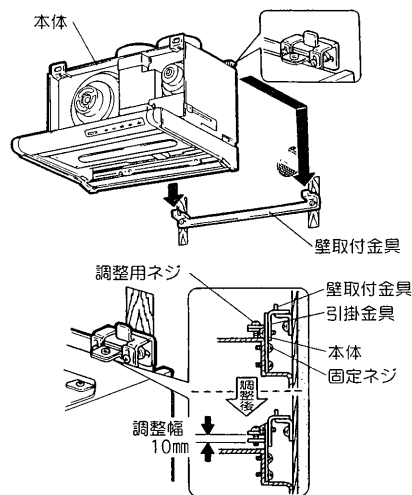
壁取付金具を取付けます。
付属の壁取付金具を付属の木ネジ(大)・木ネジ用ワッシャー(大)(各2個)で壁面に水平に取付けます。

2



ダクト接続口を固定します。
ダクト接続口に付属のパッキンを巻き付けダクトを接続し、市販のアルミテープなどで風漏れのないようテーピングします。

2



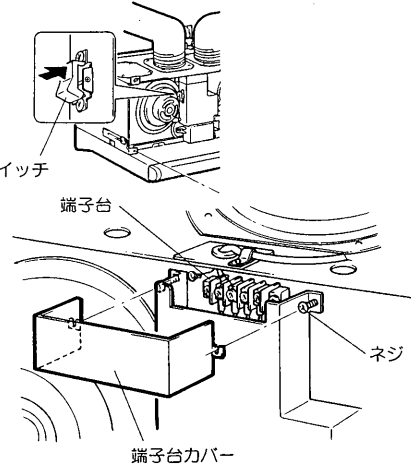
本体を取付けます。
本体を壁取付金具に引掛け傾きの調整をします。

本体の傾きの調整

- 周囲の吊戸棚などの関係で本体に傾きがあった場合は、固定ネジ2本をゆるめ、調整用ネジで高い方を下げて調整します。(調整用ネジ・固定ネジは左右にあります)
- 調整後、固定ネジをしっかり締め付け本体を固定します。

— 電気工事 —

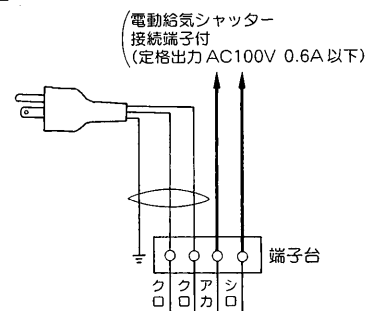
電源スイッチ



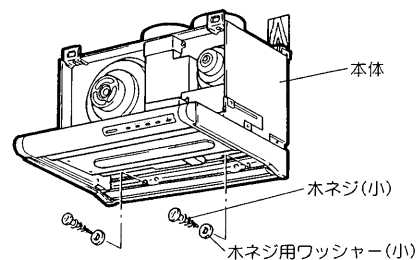
1. 電源プラグと同形のコンセントを設けて電源プラグを差し込みます。
 2. 電源スイッチが「入」になっているか確認します。
 3. 電動給気シャッターなどと連動して使用する場合は、出力端子を使用して結線してください。
(定格出力=AC100V 0.6A以下)
- (1) 本体上部の端子台カバーをはずし、結線図の太線部分を端子台に接続します。
(2) 端子台カバーを元通りに取付けます。

結線図

※太線部分を結線します。

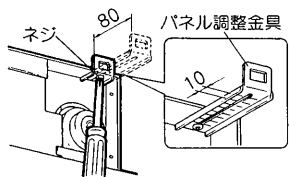
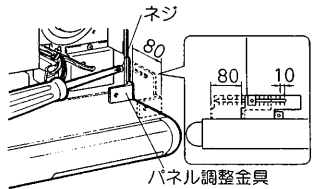
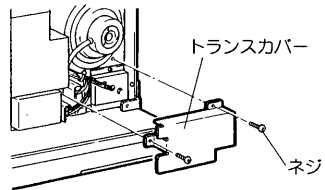
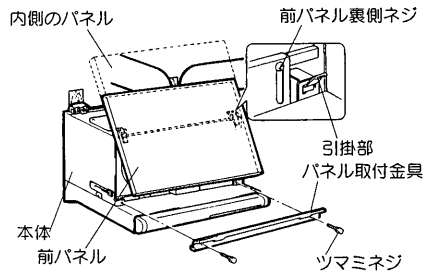
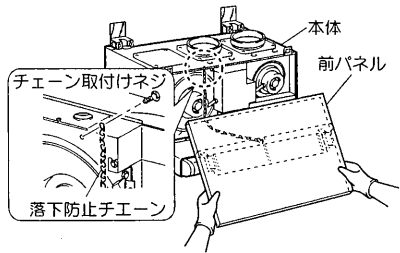


3

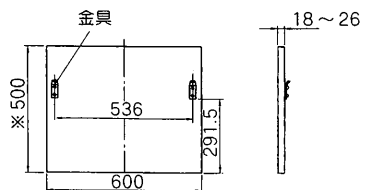


本体を固定します。
本体内部より壁面に向けて付属の木ネジ(小)・木ネジ用ワッシャー(小)(各2個)で本体を固定します。

前パネルの取付け



単位 (mm)



単位 (mm)

※印寸法はレンジフード高さ600の場合です。

落下防止チェーンを取付けます。

1. 本体のチェーン取付けネジをはずす。
2. 落下防止チェーンをチェーン取付けネジ1本で本体に固定する。
前パネルを支えながら取付けてください。
本体が傷付く原因になります。
3. 前パネル上部の引掛部 (2か所) を本体上部の引掛部に掛けて、パネル取付金具で下側を押さえツマミネジ (2本) で締め付け固定します。

△ 注意

前パネル裏側上部の引掛部 (2か所) が本体上部引掛部に確実に取付けられていることを確認する引掛部に確実に取付けていないと、前パネルが落下する原因になります。

前パネルの調整

前パネルを上方向に100mmの範囲で調整することができます。

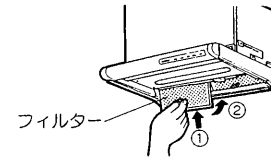
1. 前パネル裏側のネジ3本をゆるめ内側のパネルを引き出します。
 2. 調整後ゆるめたネジを確実に締め付けます。
- 前パネルを吊戸棚の位置と合うように80mmの範囲で調整することができます。

1. トランスカバーのネジ2本をはずしてトランスカバーを取りはずします。
2. 下側のパネル調整金具のネジ (本体内側) をゆるめ、パネル押えが吊戸棚と合うようスライドさせて、ネジを締め付け固定します。(内側に目盛りがありますのでスライド分を確認できます)
3. 上側のパネル調整金具のネジをゆるめ、下側の目盛りと同じだけスライドさせて、再度ネジを締め付け固定します。
4. トランスカバーを元通り取付けます。
5. 前パネルを本体に取付けます。

前パネルを吊戸棚の色に合わせる場合

1. 吊戸棚と同色の不燃板を左図のように切断します。
2. 前パネルにネジ止めされている金具をはずし左図の位置に取付けます。
3. 前パネルを本体に取付けます。

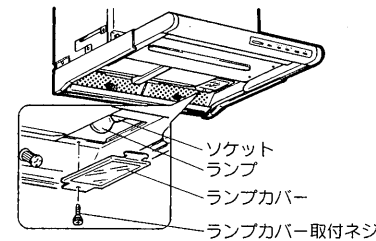
フィルターを取付け



フィルターの上部を先に差し込み下側をはめ込みます。(2枚とも)

- フィルター固定ネジを持ち油受けの上側の溝にはめ込みます。

ランプを取付け



付属のランプを取付けます。

1. フードを手で引き出します。
ただし、V-603SQで電源が入っている場合はフードスイッチを押して引き出します。
2. ランプカバー取付ネジをはずしランプカバーを取りはずします。
3. 付属のランプ (100V、40W、口金径17mm) をソケットに取付けます。
4. ランプカバーを元通り取付けます。

試運転

■ 取付工事が終わりましたら、次の確認をしてください。

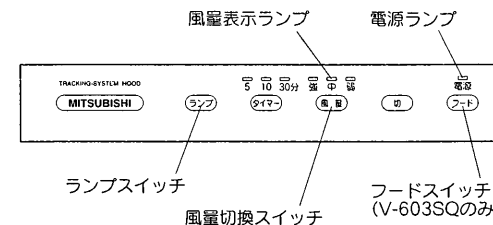
△ 注意

ランプを点検する際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る。(感電することがあります)

1. 本体はしっかりと固定されていますか? ランプはゆるんでいませんか?
2. 電動給気シャッターは確実に接続されていますか?

■ 電源プラグをコンセントに差し込み、次の確認をしてください。

1. 電源プラグはしっかり差し込まれていますか?
2. フードスイッチを押すとフードが出てきて電源ランプが点灯しますか? (V-603SQのみ)
フードを引き出すと電源ランプが点灯しますか? (V-603SQ-Mのみ)
3. ランプスイッチを押すとランプが点灯しますか?
4. 風量切換スイッチを押して風量が切換わりますか?
5. それぞれの風量で運転した場合、振動や異常音がありませんか?



■ V-603SQで電源を切ってから手でフードの出し入れを行いますと電源を入れたとき「ジー」という音が出る場合があります。音を消すには、フードスイッチを押してフードの出し入れを行ってください。

■ 試運転後、天井および壁などに内装用接着剤や塗料が使用される場合がありますので、本体の保護のために保護材を覆ってください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話 0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。